

## 【流動性に係る健全性を判断するための基準に関する事項】 【銀行 連結】

### 連結流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

#### 時系列における連結流動性カバレッジ比率の変動に関する事項

##### 過去2年間の連結流動性カバレッジ比率の主要な変動及びその要因に関する定性的な説明

2025年3月期第2四半期の連結流動性カバレッジ比率は138.7%（前四半期比0.9%低下）となりました。なお、当行の連結流動性カバレッジ比率は、過去2年間にわたって規制基準を大きく上回る水準で安定的に推移しております。

#### 連結流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項

##### 連結グループによる連結流動性カバレッジ比率の水準に関する評価

当期の流動性カバレッジ比率は、規制基準を大きく上回り、問題のない水準を確保しています。

##### 前項の評価で課題が生じた場合の実務上の対応策

特に課題はありません。

##### 今後の連結流動性カバレッジ比率の見通しに関する定性的な説明

当行の資産・負債構成に大きな変動が見込まれないことから、流動性カバレッジ比率も預金や貸出金の季節的な動き等に伴い、過去の推移と同様の動きとなることを見込まれます。なお、今後も同比率の見通しと実績値が大きく乖離することは想定されません。

##### 実績値が当初の見通しと大きく異なる場合には、その異なった理由の追加的な説明

当期の流動性カバレッジ比率は、想定範囲内で推移しました。

#### 算入可能適格流動資産の合計額に関する事項

##### 算入可能適格流動資産の通貨又は種類等の構成や所在地に著しい変動があった場合に関する説明

当期の算入可能適格流動資産は、日本銀行等への預け金や日本国債、米国債、政府保証債、地方債などであり、当該資産に著しい変動等はありません。

なお、連結子会社が保有する資産については、連結流動性カバレッジ比率の算定において、適格流動資産として計上していません。

##### 主要な通貨\*における算入可能適格流動資産の合計額と純資金流出額の間著しい通貨のミスマッチがある場合には、そのミスマッチに関する評価及びミスマッチへの実務上の対応策に関する説明

当行では、円以外の主要な通貨として「米ドル」が該当します。なお、当該通貨における算入可能適格流動資産の合計額と純資金流出額の間著しい通貨のミスマッチはありません。

\*当該通貨建て負債の合計額が、銀行の負債合計額の5%以上を占める円以外の通貨をいいます。

#### その他連結流動性カバレッジ比率に関する事項

##### ・流動性比率告示第29条に定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」に関する説明

当行は、「適格オペレーショナル預金に係る特例」を適用していません。

##### ・流動性比率告示第38条に定める「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」を適用している場合に関する説明

当行は、「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」を適用していません。

##### ・流動性比率告示第53条に定める「その他偶発事象に係る資金流出額」、同告示第60条に定める「その他契約に基づく資金流出額」又は同告示第73条に定める「その他契約に基づく資金流入額」に関する説明

当行では、「その他偶発事象に係る資金流出額」として、投資ファンドに対する未出資金や住宅ローン証券化発行債券の予想買戻し額等を計上しています。また、「その他契約に基づく資金流出額」には、主に約定未受渡しの市場性運用資金等を計上し、「その他契約に基づく資金流入額」には、主に約定未受渡しの市場性調達資金等を計上しています。

なお、連結子会社の負債については、連結流動性カバレッジ比率の算定において、保守的にその流動負債が全額流出するとみなし、「その他契約に基づく資金流出額」に計上しています。

#### 流動性カバレッジ比率（日次平均の値をいう。）の内訳のうち、日次データを使用しない項目に関する説明

当行は、流動性カバレッジ比率（日次平均）の算定にあたり、月次データ（流動性比率告示に定める「中小企業等」や「安定預金」の要件確認に用いる属性情報等）や四半期次データ（連結子会社に関する情報等）を利用していますが、いずれも流動性カバレッジ比率（日次平均）に大きな影響はありません。

## 連結流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%、件)

項目		当四半期		前四半期	
<b>適格流動資産 (1)</b>					
1	適格流動資産の合計額	5,433,044		5,568,668	
<b>資金流出額 (2)</b>		資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	11,760,643	932,115	11,628,484	924,152
3	うち、安定預金の額	3,484,979	104,549	3,409,937	102,298
4	うち、準安定預金の額	8,275,663	827,566	8,218,547	821,854
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	5,793,279	3,458,218	5,902,446	3,518,188
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	-	-	-	-
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	5,607,642	3,272,581	5,716,968	3,332,710
8	うち、負債性有価証券の額	185,637	185,637	185,478	185,478
9	有担保資金調達等に係る資金流出額		1,574		808
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	2,043,742	381,458	2,005,941	348,669
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	248,086	248,086	215,198	215,198
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	-	-	-	-
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	1,795,656	133,372	1,790,742	133,470
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	97,825	88,852	122,785	110,839
15	偶発事象に係る資金流出額	1,674,544	76,447	1,679,438	75,288
16	資金流出合計額		4,938,667		4,977,948
<b>金流入額 (3)</b>		資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	-	-	-	-
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	868,722	614,317	879,955	640,123
19	その他資金流入額	430,144	408,364	369,456	350,302
20	資金流入合計額	1,298,867	1,022,681	1,249,412	990,425
<b>連結流動性カバレッジ比率 (4)</b>					
21	算入可能適格流動資産の合計額		5,433,044		5,568,668
22	純資金流出額		3,915,986		3,987,522
23	連結流動性カバレッジ比率		138.7		139.6
24	平均値計算用データ数		62		62

(注) 上記は、2015年金融庁告示第7号に基づく開示事項です。

**【流動性に係る健全性を判断するための基準に関する事項】**  
**【銀行 連結】**

## 連結安定調達比率に関する定性的開示事項

### 時系列における連結安定調達比率の変動に関する事項

#### 過去3年間の連結安定調達比率の主要な変動及びその要因に関する定性的な説明

2025年3月期第2四半期の連結安定調達比率は125.6%（前四半期比2.5%低下）となりました。なお、当行の連結安定調達比率は、過去3年間にわたって規制基準を上回る水準で安定的に推移しております。

### 流動性比率告示第101条各号に掲げる要件を満たす場合に関する事項

#### 流動性比率告示第101条に定める「相互に関係する資産・負債の特例」を適用している場合には、その適用対象と相互関係性に関する説明

当行は、「相互に関係する資産・負債の特例」を適用していません。

### その他連結安定調達比率に関する事項

- **連結グループによる連結安定調達比率の水準に関する評価**  
当期の安定調達比率は、規制基準を上回り、問題のない水準を確保しています。
- **前項の評価で課題が生じた場合の実務上の対応策**  
特に課題はありません。
- **今後の連結安定調達比率の見通しに関する定性的な説明**  
今後の安定調達比率の見通しが現在の水準から大きく乖離することは想定していません。
- **実績値が当初の見通しと大きく異なる場合には、その異なった理由の追加的な説明**  
当期の安定調達比率は、当初の見通しと大きく異なっていません。

# 連結安定調達比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%)

項番		当四半期					前四半期				
		算入率考慮前金額				算入率考慮後金額	算入率考慮前金額				算入率考慮後金額
		満期なし	6月未満	6月以上1年未満	1年以上		満期なし	6月未満	6月以上1年未満	1年以上	
利用可能安定調達額 (1)											
1	資本の額	1,069,241	-	-	6	1,069,248	1,074,105	-	-	5	1,074,111
2	うち、普通株式等Tier1資本、その他Tier1資本及びTier2資本(基準日から1年を経過する前に弁済期が到来するものを除く。)に係る基礎項目の額	1,069,241	-	-	6	1,069,248	1,074,105	-	-	5	1,074,111
3	うち、上記に含まれない資本調達手段及び資本の額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	個人及び中小企業等からの資金調達	11,732,012	-	-	-	10,730,897	11,829,193	-	-	-	10,823,152
5	うち、安定預金等の額	3,441,715	-	-	-	3,269,629	3,537,566	-	-	-	3,360,688
6	うち、準安定預金等の額	8,290,297	-	-	-	7,461,267	8,291,627	-	-	-	7,462,464
7	ホールセール資金調達	3,191,525	3,374,334	602,344	1,440,327	3,568,651	3,291,053	3,564,943	393,052	1,462,837	3,658,283
8	うち、適格オペレーショナル預金の額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	うち、その他のホールセール資金調達の額	3,191,525	3,374,334	602,344	1,440,327	3,568,651	3,291,053	3,564,943	393,052	1,462,837	3,658,283
10	相互に関係する資産がある負債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	その他の負債	491	414,400	-	28,802	-	11,248	420,468	-	43,653	-
12	うち、デリバティブ負債の額	-	-	-	27,353	-	-	-	-	43,640	-
13	うち、上記に含まれない負債の額	491	414,400	-	1,449	-	11,248	420,468	-	13	-
14	利用可能安定調達額合計	-	-	-	-	15,368,796	-	-	-	-	15,555,547
所要安定調達額 (2)											
15	流動資産の額	-	-	-	-	113,445	-	-	-	-	105,892
16	金融機関等に預け入れているオペレーショナル預金に相当するものの額	4,117	-	-	-	4,117	4,585	-	-	-	4,585
17	貸出金又はレポ形式の取引による資産及び有価証券その他これに類するものの額	298,069	2,125,433	788,033	11,078,682	10,643,668	321,727	2,117,512	729,723	11,031,603	10,589,480
18	うち、レベル1資産を担保とする金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	うち、項番18に含まれない金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	691	308,615	70,825	579,618	662,015	941	321,845	63,204	583,433	664,253
20	うち、貸出金又はレポ形式の取引による資産の額(項番18、19及び22に該当する額を除く。)	-	1,119,221	506,464	3,935,901	3,998,312	-	1,070,728	456,802	3,946,121	3,950,973
21	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	-	361,450	81,176	800,233	741,465	-	279,896	70,835	834,974	718,099
22	うち、住宅ローン債権	-	184,660	171,969	6,043,547	4,975,811	-	183,451	168,346	5,986,764	4,935,027
23	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	-	54,932	54,345	1,697,593	1,158,074	-	54,401	52,848	1,648,105	1,124,893
24	うち、流動資産に該当しない有価証券その他これに類するもの	297,378	512,935	38,774	519,614	1,007,529	320,786	541,487	41,370	515,283	1,039,225
25	相互に関係する負債がある資産	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26	その他の資産等	179,314	51,957	22,398	1,075,838	1,301,205	176,397	45,178	20,503	1,056,043	1,270,739
27	うち、現物決済されるコモディティ(金を含む。)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	うち、デリバティブ取引等又は中央清算機関との取引に関連して預託した当初証拠金又は清算基金(連結貸借対照表に計上されないものを含む。)	-	-	-	20,121	17,103	-	-	-	15,473	13,152
29	うち、デリバティブ資産の額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	うち、デリバティブ負債(変動証拠金の対価の額を減ずる前)の額	-	-	-	3,466	3,466	-	-	-	5,879	5,879
31	うち、上記に含まれない資産及び資本の額	179,314	51,957	22,398	1,052,250	1,280,635	176,397	45,178	20,503	1,034,689	1,251,706
32	オフ・バランス取引	-	-	-	3,536,287	169,257	-	-	-	3,527,869	167,389
33	所要安定調達額合計	-	-	-	-	12,231,694	-	-	-	-	12,138,086
34	連結安定調達比率	-	-	-	-	125.6	-	-	-	-	128.1

(注) 上記は、2015年金融庁告示第7号に基づく開示事項です。

【流動性に係る健全性を判断するための基準に関する事項】  
【銀行 単体】

単体流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

時系列における単体流動性カバレッジ比率の変動に関する事項

過去2年間の単体流動性カバレッジ比率の主要な変動及びその要因に関する定性的な説明

2025年3月期第2四半期の単体流動性カバレッジ比率は140.7%（前四半期比1.0%低下）となりました。なお、当行の単体流動性カバレッジ比率は、過去2年間にわたって規制基準を大きく上回る水準で安定的に推移しております。

そのほかの定性的開示事項につきましては、前記「【銀行 連結】「連結流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項」」に含めて記載しています。

単体流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%、件)

項目		当四半期		前四半期	
適格流動資産 (1)					
1	適格流動資産の合計額	5,433,044		5,568,668	
資金流出額 (2)		資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	11,760,643	932,115	11,628,484	924,152
3	うち、安定預金の額	3,484,979	104,549	3,409,937	102,298
4	うち、準安定預金の額	8,275,663	827,566	8,218,547	821,854
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	5,821,180	3,486,119	5,931,870	3,547,612
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	-	-	-	-
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	5,632,365	3,297,304	5,741,859	3,357,601
8	うち、負債性有価証券の額	188,814	188,814	190,010	190,010
9	有担保資金調達等に係る資金流出額	1,574		808	
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	2,033,521	380,947	1,995,617	348,152
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	248,086	248,086	215,198	215,198
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	-	-	-	-
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	1,785,434	132,860	1,780,418	132,954
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	33,628	24,656	55,157	43,211
15	偶発事象に係る資金流出額	1,701,221	77,269	1,706,237	76,114
16	資金流出合計額	4,902,683		4,940,053	
資金流入額 (3)		資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	-	-	-	-
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	888,173	633,766	899,954	660,120
19	その他資金流入額	430,166	408,386	369,480	350,326
20	資金流入合計額	1,318,340	1,042,153	1,269,435	1,010,447
単体流動性カバレッジ比率 (4)					
21	算入可能適格流動資産の合計額	5,433,044		5,568,668	
22	純資金流出額	3,860,530		3,929,606	
23	単体流動性カバレッジ比率	140.7		141.7	
24	平均値計算用データ数	62		62	

(注) 上記は、2015年金融庁告示第7号に基づく開示事項です。

## 単体安定調達比率に関する定性的開示事項

### 時系列における単体安定調達比率の変動に関する事項

#### 過去3年間の単体安定調達比率の主要な変動及びその要因に関する定性的な説明

2025年3月期第2四半期の単体安定調達比率は128.0%（前四半期比2.5%低下）となりました。なお、当行の単体安定調達比率は、過去3年間にわたって規制基準を上回る水準で安定的に推移しております。

そのほかの定性的開示事項につきましては、前記「【銀行 連結】「連結安定調達比率に関する定性的開示事項」」に含めて記載しています。

【流動性に係る健全性を判断するための基準に関する事項】  
【銀行 単体】

単体安定調達比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%)

項番		当四半期					前四半期				
		算入率考慮前金額				算入率考慮後金額	算入率考慮前金額				算入率考慮後金額
		満期なし	6月未満	6月以上1年未満	1年以上		満期なし	6月未満	6月以上1年未満	1年以上	
利用可能安定調達額 (1)											
1	資本の額	1,069,241	-	-	6	1,069,248	1,074,105	-	-	5	1,074,111
2	うち、普通株式等Tier1資本、その他Tier1資本及びTier2資本(基準日から1年を経過する前に弁済期が到来するものを除く。)に係る基礎項目の額	1,069,241	-	-	6	1,069,248	1,074,105	-	-	5	1,074,111
3	うち、上記に含まれない資本調達手段及び資本の額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	個人及び中小企業等からの資金調達	11,732,012	-	-	-	10,730,897	11,829,193	-	-	-	10,823,152
5	うち、安定預金等の額	3,441,715	-	-	-	3,269,629	3,537,566	-	-	-	3,360,688
6	うち、準安定預金等の額	8,290,297	-	-	-	7,461,267	8,291,627	-	-	-	7,462,464
7	ホールセール資金調達	3,191,525	3,374,334	602,344	1,440,327	3,568,651	3,291,053	3,564,943	393,052	1,462,837	3,658,283
8	うち、適格オペレーショナル預金の額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	うち、その他のホールセール資金調達の額	3,191,525	3,374,334	602,344	1,440,327	3,568,651	3,291,053	3,564,943	393,052	1,462,837	3,658,283
10	相互に関係する資産がある負債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	その他の負債	491	188,490	-	28,802	-	11,248	198,848	-	43,653	-
12	うち、デリバティブ負債の額	-	-	-	27,353	-	-	-	-	43,640	-
13	うち、上記に含まれない負債の額	491	188,490	-	1,449	-	11,248	198,848	-	13	-
14	利用可能安定調達額合計	-	-	-	-	15,368,796	-	-	-	-	15,555,547
所要安定調達額 (2)											
15	流動資産の額	-	-	-	-	113,445	-	-	-	-	105,892
16	金融機関等に預け入れているオペレーショナル預金に相当するものの額	4,117	-	-	-	4,117	4,585	-	-	-	4,585
17	貸出金又はレポ形式の取引による資産及び有価証券その他これに類するものの額	298,069	2,125,433	788,033	11,078,682	10,643,668	321,727	2,117,512	729,723	11,031,603	10,589,480
18	うち、レベル1資産を担保とする金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	うち、項番18に含まれない金融機関等への貸出金及びレポ形式の取引による額	691	308,615	70,825	579,618	662,015	941	321,845	63,204	583,433	664,253
20	うち、貸出金又はレポ形式の取引による資産の額(項番18、19及び22に該当する額を除く。)	-	1,119,221	506,464	3,935,901	3,998,312	-	1,070,728	456,802	3,946,121	3,950,973
21	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	-	361,450	81,176	800,233	741,465	-	279,896	70,835	834,974	718,099
22	うち、住宅ローン債権	-	184,660	171,969	6,043,547	4,975,811	-	183,451	168,346	5,986,764	4,935,027
23	うち、リスク・ウェイトが35%以下の資産の額	-	54,932	54,345	1,697,593	1,158,074	-	54,401	52,848	1,648,105	1,124,893
24	うち、流動資産に該当しない有価証券その他これに類するもの	297,378	512,935	38,774	519,614	1,007,529	320,786	541,487	41,370	515,283	1,039,225
25	相互に関係する負債がある資産	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26	その他の資産等	179,314	51,957	22,398	849,928	1,075,295	176,397	45,178	20,503	834,423	1,049,118
27	うち、現物決済されるコモディティ(金を含む。)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	うち、デリバティブ取引等又は中央清算機関との取引に関連して預託した当初証拠金又は清算基金(連結貸借対照表に計上されないものを含む。)	-	-	-	20,121	17,103	-	-	-	15,473	13,152
29	うち、デリバティブ資産の額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	うち、デリバティブ負債(変動証拠金の対価の額を減ずる前)の額	-	-	-	3,466	3,466	-	-	-	5,879	5,879
31	うち、上記に含まれない資産及び資本の額	179,314	51,957	22,398	826,341	1,054,725	176,397	45,178	20,503	813,069	1,030,086
32	オフ・バランス取引	-	-	-	3,523,827	168,703	-	-	-	3,515,415	166,833
33	所要安定調達額合計	-	-	-	-	12,005,230	-	-	-	-	11,915,910
34	単体安定調達比率	-	-	-	-	128.0	-	-	-	-	130.5

(注) 上記は、2015年金融庁告示第7号に基づく開示事項です。